

支援情報等のお知らせ

- 1) 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
 - ① 令和3年度「県・市町村青少年相談担当職員研修会」受付中
 - ② 「第2回ぐんまの子ども・若者支援フォーラム」受付中!
- 2) 自立支援に関するイベント等の情報
 - ① ひきこもり家族教室『本人と家族の気持ち』『会話の工夫』
 - ② KHJ群馬はるかぜの会「ひきこもり支援講演会」
 - ③ 「GUNMA SHIAWASE×TECHアイデアコンテスト2021」発表会
 - ④ 県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ2」
- 3) 民間活動団体等の紹介
 - ① 藤岡市 オルタナティブスクール「百の森学園」

1 令和3年度「県・市町村青少年相談担当職員研修会」受付中

今回は、思春期の子ども・若者支援で重要な役割を担っている児童相談所の児童福祉司とスクールソーシャルワーカー（SSW）の方に社会資源としての支援の役割と実践について報告していただきます。

研修会の後半は、学校現場における「不登校・ひきこもり状態の本人や家族に対する支援での困り感」に対して、それぞれの立場でどのような支援が考えられるのかを助言するとともに、切れ間ない支援の実現に向けた連携の課題について意見交換を行います。

参加を希望される方は、下記方法で早めに申込みください。

【研修会の概要】

日時 12月23日（木） 13:00～16:00
会場 群馬県公社総合ビル ホール（前橋市大渡町1-10-7）
テーマ 困難な状況にある思春期の子ども・若者支援
「社会資源の活用と支援連携の必要について」Ⅰ
児童相談所の児童福祉司、スクールソーシャルワーカーの実践

内容

第1部 事例報告（60分間）

- ① 児童相談所における相談援助活動
中央児童相談所 家庭支援係補佐 三浦由佳氏
- ② スクールソーシャルワーカーによる支援活動
中部教育事務所 SSW 相崎ゆ美氏

第2部 意見交換（90分間）

テーマ 「社会資源の活用と支援連携の必要について」

- 進行役 NPO法人リンケージ理事長
臨床心理士 石川京子氏
- 報告者 高崎市教育センター
嘱託職員（不登校対策担当）石井敏明氏
- 助言者 みどりクリニック院長 鈴木基司氏
中央児童相談所 三浦由佳氏

【参加の申込み】

定員 150名（先着順）
方法 ぐんま電子申請受付システムで申込みください。
注）研修会の詳細は添付の実施要項をご覧ください

【問い合わせ先】

児童福祉・青少年課 青少年育成係
電話 027-226-2393
E-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

2 1/9「第2回ぐんまの子ども・若者支援フォーラム」受付中！

困難な状況にある子どもと若者と次の道と一緒に探したいと願う人たちが集まり企画し、県協議会と共催でフォーラムを開催します。

重要なことは、支援を必要としている方と支援者がうまくかみ合う社会の実現を目指して「支援者が繋がる」ことです。お互いを知ること、専門知識や活力を活かし合う必要があると考えました。それぞれの地域には支援の活動をしていらっしゃる方々がたくさんいます。具体的に知ることによって強い味方を得ることになり、問題解決の糸口が見つかると思っています。

フォーラム実行委員長 湯浅 やよい

【フォーラムの概要】

日時 令和4年1月9日（日）13:00～16:00（入場無料）
会場 高崎市市民活動センターソシアス（高崎市足門町1669-2）
内容 第2回ぐんまの子ども・若者支援フォーラム
～ 支援を必要としている方と支援者が
うまくかみ合う社会の実現を目指して ～

開催に関しまして8月開催予定のプログラムと同じです。
参加希望の方は、改めて申込みをお願いします。

【講演会】

講師 湯浅 誠氏（ゆあさ まこと）
／東京大学先端科学技術研究センター 特任教授
／NPO法人全国こども食堂支援センター むすびえ 理事長

1990年代よりホームレス支援・生活困窮者支援に従事
2009年から3年間、内閣府参与

【分科会】

詳細は下記の実行委員会HPをご覧ください

【申込み】

締切り 12月24日（金）まで
方法 こちらからお願いします
<https://minamikaze2015.wixsite.com/home>

注）湯浅委員長が上毛新聞「みんなのひろば」（2021年11月8日）で「子ども若者支援」と題して寄稿しています。
こちらからご覧いただけます

<https://www.jomo-news.co.jp/feature/shiten/338534>

3 12/23 ひきこもり家族教室『関わり方の工夫』こんなときどうする？

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいる家族を対象に家族教室を開催します。

家族教室では、ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会となることを目的としています。

家族教室で使用するテキストを県HPで公開しています。
ひきこもりの当事者と関わる御家族はもちろん、支援者（支援機関）の方も業務の参考にいただければ幸いです。

テキストはこちらからダウンロードしてください
<https://www.pref.gunma.jp/07/p11710028.html#hikikomori>

【家族教室】

教室：12月23日（木）13:30～16:00
内容：『関わり方の工夫』～こんなときどうする？～
会場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町368）
連絡先：ひきこもり支援センター
専用ダイヤル 027-287-1121

初めての方は個別の相談を受けた後、必要に応じて教室をご案内しています。

支援者の見学につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮した上で受け入れたいと思いますので、希望される方は事前に連絡をお願いします。

4 12/19 ひきこもり支援講演会
「発達特性の基本的な理解と支援について」

ひきこもり経験者・家族が仲間とともに明るく前向きに歩き、学び・成長することを目的とする団体、KHJ群馬「はるかぜの会」では、発達特性の基本的な理解や支援についての講演会を開催します。

【ひきこもり支援講演会】

日時：12月19日（日）13:30～15:30
会場：群馬県社会福祉総合センター 203AB会議室
題目：「発達特性の基本的な理解と支援について」
講師：群馬県発達障害者支援センター
対象：関心のある方
定員：33名（先着順、予約制）

〔申込み お問い合わせ〕

KHJ群馬はるかぜの会 TEL 090-2916-0346
harukazenokai.gunma@gmail.com

注）感染対策による定員数に達した場合には、受付終了とさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

KHJ全国ひきこもり家族会連合会の詳細はHPをご覧ください。
<http://www.khj-h.com>

5 | 【視聴者大募集】12/19 「GUNMA SHIAWASE×TECH
アイデアコンテスト2021」のオンライン発表会

県ではデジタル技術を活用した「ぐんまで結婚・妊娠・出産・子育てをしたくなる」アイデアコンテストの発表会を行います。

発表はコンテストの1次審査（9月）通過の学生主体の5チームです。「こんなものがあったら群馬で結婚・妊娠・出産・子育てをしたくなる！」と学生ならではの視点からデジタル技術を交えて斬新なアイデア提案をまとめ上げました。
視聴参加された方は、一般審査員として投票していただけます。

【開催概要】

日時：12月19日（日）13:00～15:00

方法：オンラインZOOM方式

定員：なし・参加費無料

<現地会場>

オンライン発表会の様子をパブリックビューイングできます

場所：NETSUGEN - 群馬県庁32階官民共創スペース

定員：あり・参加費無料

【申込受付期間】

11月17日（水）～12月15日（水）

発表会への詳しい申し込み方法などは、下記URLをご覧ください。

https://www.pref.gunma.jp/03/cm01_00038.html

6 | 群馬県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ1」
消費者教育教材をご活用ください

子どもや若者の消費者被害を減らすため、10月から県消費生活課と連携して、毎月シリーズで支援情報を提供しています。
今月のテーマは「消費者教育教材をご活用ください」です。

2022年4月から成年年齢が18歳に引き下げられます。

今後、知識や経験の乏しい若者たちの間で借金を抱えてしまったり、マルチ商法などのトラブルに巻き込まれてしまったりすることが懸念されます。こうした被害を減らすため、早期からの消費者教育が重要になります。

そこで県では、県教育委員会、群馬弁護士会、群馬県金融広報委員会と協力して2種類（高校生向けと特別支援学校高等部向け）の「ぐんま版消費者教育教材（DVD）」を作成しました。

【教材（パワポ）の内容】

- テーマ「契約とは」「実際の相談事例」「相談統計データ」等
- 教員向けの解説付
項目ごとに分かれているので、組み合わせた利用が可能。
- 入手方法
県ホームページからダウンロードできます。

※詳しい内容は県HPでご確認ください

<https://www.pref.gunma.jp/05/c0900482.html>

★こまったら、まず相談！！

消費者ホットライン「188（いやや!）」

《問い合わせ先》

群馬県消費生活センター 027-223-3001
<https://www.pref.gunma.jp/05/c0900056.html>

7 民間活動団体 オルタナティブスクール「百の森学園」

皆さん、「オルタナティブスクール」をご存じでしょうか？
「もう一つの学校」という意味で、子どもたちの個性や自主性を尊重した学びの場所です。

百の森学園は2021年4月、学校に登校する、登校しないの二者択一ではなく、三番目の選択肢として多様な子どもたちが生き生きと学べる場所を用意してあげたいとの思いから、藤岡市鬼石の酒蔵跡地や古民家を活動拠点に開校しました。

現在、小学1年生から6年生まで15人が、様々な体験学習とともに国語、算数、理科、社会の基礎学習も日常的に取り組んでいます。子どもたちは、それぞれ地元の公立学校に籍を置きながら、毎日通ってきています。来春には6年生は卒業し、希望する中学校に進学することになっています。

「百の森学園」の活動の様子は下記をご覧ください。

<https://www.facebook.com/100nomori/>

朝日ぐんま2021年6月11日号 群馬の話題「学びの選択肢が広がる」で紹介されたのでこちらもご覧ください。

https://www.asahigunma.com/20210611_1men/



次号は、2021年12月中旬を予定しています。
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

群馬県子ども・若者支援協議会

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県生活こども部
児童福祉・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
- ▼ TEL 027-226-2393
- ▼ FAX 027-223-6526
- ▼ e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
- ▼ HP <http://smilelife.pref.gunma.jp>